

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 刈谷田福祉会	代表者	理事長 岸 弘道	法人・ 事業所 の特徴	共に生き、共に育み、「尊敬の心」「感謝の心」「謙虚な心」のサービスの提供に努めます。 自宅での生活の継続を望む方が、家族・地域との関係を断ち切ることなく、これまでと同じように地域で共に生活が送れるように支援していきます。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護みやざわ苑	管理者	大崎 祐史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	1人	2人	2人	1人	0人	2人	4人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・どんな小さい事でも事業所全体で積み上げ、検討していただきたい。 ・評価は日常生活がいかに展開されているかの結果。評価のためのものではないので理解して行ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善計画に優先順位をつけ、定期のミーティングで改善計画の進捗状況について確認しながら、職員共通認識のもと実施していく。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が入れる環境ではないのでは？もっと地域の人が自由に気楽に入れる環境を作っているように検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関としてわかりにくい面もあるので看板の設置などを行なう。 ・活動の際ポスターで地域のボランティアを募り、接点作りをすすめる。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミステーションの掃除や落ち葉拾いなどやりやすいものから地域との関係を持つのも良い。 ・小規模は相談機関ではないが、法人の相談機関に繋げてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のことをもっと知ってもらえるようなチラシを作成し、地域の回覧板に掲示を依頼していく。 ・ゴミ拾い等施設外での活動の機会を増やし、アピールしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・催し物など見に行く機会は多いと思うが、参加とは活動に参加すること。見に行くだけでは参加ではない。 ・地域ケア会議を開催しているので活用してもらえたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化祭に作品を出展等、地域での活動参加の機会を増やしていく。 ・地域の会議や交流会に参加し、地域の課題の共有を図っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・もっと詳しい情報、苦情、変化のあった方なことなどきちんと文章的なもので出してもらいたい。取り組みの工夫ももっとしてもらいたい。 ・設問自体が現段階では難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前配布の資料の内容を再検討する。事故、ヒヤリハットや苦情等を資料で示すとともに、事業所の取り組みや活動を解りやすいように提示していく。
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・前回の避難訓練は地区も参加予定だったが、施設が疥癬対応中で参加できなかった。次回はどうぞ声をかけて下さい。災害時は、地域、事業所お互いの協力が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を建物のわかりやすい場所に掲示し、公表する。 ・災害時の事業所（施設）の役割を理解いただけるように、回覧用チラシに明記する。

